

会 議 録

1 会議名

第2回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 所長あいさつ（公開）

(2) 自己紹介（公開）

(3) 会長及び副会長の選任（公開）

(4) 諸事項の確認（公開）

・上越市地域自治区の設置に関する条例（第7条、第8条関係）

・上越市審議会等の会議の公開に関する条例（第5条関係）

(5) 協議（公開）

ア 浦川原区地域協議会で定める事項

・席順

・会議録の確認方法

・地域協議会の運営方針（案）

イ 浦川原区地域協議会だよりの発行について

ウ 浦川原区に係る平成28年度の地域活動支援事業の審査について

(6) 報告（公開）

ア 市からの報告

① 「霧ヶ岳温泉ゆあみ」について

② 浦川原区小学校統合実行委員会について

③ 浦川原小学校後援会設立準備委員会について

(7) その他（公開）

ア 次回の開催日について

3 開催日時

平成28年5月20日（金）午後5時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4、5

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：五十嵐広美、池田幸博、市村一雄、金子百合江、杉田和久、西山康博、福井克利、藤田宏裕、前島邦子、村松清、村松進、和栗恵子
- ・事務局：浦川原区総合事務所奥田所長、岩野次長、総務・地域振興グループ西山グループ長、産業グループ山崎グループ長、建設グループ小林グループ長、教育・文化グループ南雲グループ長、総務・地域振興グループ飯野班長、宮川班長

8 発言の内容

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告
- ・出席者は12人全員
- ・席順は氏名の五十音順に右回りで配席

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

それでは、次第の「2 所長あいさつ」で所長よりあいさつをいただく。

（奥田所長のあいさつ。）

次に「3 自己紹介」に入る。委員の皆様から一言ずついただきたい。順番は氏名の五十音順で、五十嵐委員から願います。

（各委員が順次自己紹介。）

次に、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の中に但し書きがあり、「会長及び副会長が選任されていない場合で市長が必要と求めるときは、市長が招集し、市長が指名する者が議長となる。」とあり、次第の「4 会長及び副会長の選任」の進行については総合事務所長が行うことを、ご了承いただきたい。

【奥田所長】

それでは、会長、副会長の選任終了まで私の方で進行する。

会長、副会長の選任については、今回は委員の皆様が協議を行い、会長、副会長を選任していただいている。今回も委員の皆様で協議していただきたいと考えており、自薦、他薦でも結構だが、他に方法があるのか皆様から忌憚のない意見を頂戴したい。いかがか。

【池田委員】

私は、藤田委員を会長として推薦する。推薦理由として藤田委員は長きにわたり会長職を歴任し全うされており、小学校統廃合の問題、ゆあみの問題、公共交通の問題に尽力され、過去の協議会の中で、経緯、問題点等を熟知されている。

これから私たちは、目前の地域支援事業の審査をはじめ、いろいろな問題、難題に取り組まなければならない。過去のプロセスを理解していないと、協議会が偏った方向、利害関係のある方向へ行くというようなことが容易に考えられる。

地域協議会は地域全体、地域住民全体の利益を考えるとということが基本的なスタンスであり、近い過去にこのようなことがあった。多くの委員が理解していると思うが、私の認識では協議会の存在意義、当時の各委員の個人的尊厳にも係わる出来事だったと考えている。この件に関し協議会の存在意義を理路整然と説明され、利害関係者を論破し、一蹴されたのが藤田委員である。

総じて、鑑みて、協議会のかじ取り役として重責であるが、藤田委員が会長として適任と考える。

【奥田所長】

池田委員から藤田委員を推薦するというので、その理由も合わせてご発言があったが、この他にご意見等はないか。

【市村委員】

今回、残られた委員が2人ということで、藤田委員のことが出てくるだろうと、そういった流れになると思っていた。せつかく4人の女性が委員になったので、会長はできないと思うが、せめて副会長を女性の方をお願いできれば良いのではないか。これだけ男女平等と言っている上越市なので、その辺を皆さんで考えていただきたい。

【奥田所長】

私どもも、会長、副会長を含めて女性の方から、いずれかの役職に就いていただけたらと考えている。そのような中、皆さんからのご意見があり、まず、会長から決めていただけたら思っている。その点で、池田委員から藤田委員を会長にという推薦があった。他に会長職について自薦、他薦、推薦を含めて皆さんいかがか。

【村松進委員】

私も藤田委員を推薦する。今、藤田委員とともに小学校合併の問題の委員をしており、そういった関係で地域に関してご尽力している。そういったことで、推薦する。

【奥田所長】

村松進委員からも藤田委員の推薦の発言があった。他にないか。なければ藤田委員を会長とすることについて、皆さん異議はないか。

(会場から「ありません。」の声多数)

それでは、藤田委員より会長に就任いただくということで決定する。

続いて、副会長の選任だが、女性の方からという意見があった。前回の協議会でも副会長が2人いて、一人が女性で、副会長に就いていただいていた経緯があるが、会長の考えもあるかと思う。藤田会長の考えをお聞きしたい。

【藤田会長】

前は女性が2名で、今回は4名ということで、ぜひ女性の方に副会長をお願いできればと思っている。指名については女性の皆さんからご協議いただきたい。共同参画といっても、なかなか大変な仕事に就いていただいております、皆さんのご意思を尊重させていただきます。

【奥田所長】

副会長は2人という考えでよろしいか。

【藤田会長】

そうだ。もう一人の方は男性でお願いしたい。この方については、私も長きにわたってお付き合いし、いろいろな支援やアドバイスをいただいている村松進委員からお願いしたい。

【奥田所長】

皆さんにお諮りする。副会長職については2人、うち一人は女性の方、そしてもう一人は男性で、男性の副会長については、村松進委員ということで、これについて皆さんから他にご意見はないか。

(会場内から「ありません。」の声)

それでは、副会長職は2人とし、一人は女性、もう一人は男性で村松進委員からということで、異議はないか。

(会場内から「はい。」の声多数)

それでは、4人の女性の方で副会長を決めていただくため、別室でご相談していただきたい。

(五十嵐委員、金子委員、前島委員及び和栗委員が別室に移動して協議)

それでは、協議の結果について西山グループ長より報告願う。

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

地域協議会の正・副会長については、委員からの互選で決定するという決まりがあり、4年間はきついということで、前半の2年をお一方、後半の2年間を別の方に引き受けていただくということで決まった。申し合わせと言う形で決めさせていただいた。

最初の2年間については和栗委員、後半の2年間については五十嵐委員に引き受けていただくことになったので報告させていただく。

【奥田所長】

それでは、前半2年、後半2年で女性の副会長を担当していただくということで、前半の2年は和栗委員、後半の2年は五十嵐委員から副会長を務めていただくということで合意された。これについて皆さん異議はないか。よろしいか。

(会場内から「はい。」の声多数)

それでは、会長は藤田委員、副会長は村松進委員、そして前半2年間は和栗委員、後半2年間は五十嵐委員ということで決定した。

それでは会長、副会長に選任された方々から、一言願います。

(藤田会長、村松進副会長及び和栗副会長就任のあいさつ)

それでは、今後の会議の進行を会長、副会長と打合せをするため、10分間の休憩とさせていただきます。

(10分間休憩後、午後6時45分に会議再開)

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

それでは、会議を再開するに当たり、以降の会議の進行については、条例の第8条の規定により会長から議長を務めていただく。

【藤田会長】

それでは、議事を進める。次第の「5 諸事項の確認」で、「上越市地域自治区の設置に関する条例(第7条、第8条関係)」「上越市審議会等の公開に関する条例(第5条関係)」について総務・地域振興グループ西山グループ長より説明願う。

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

(資料1、資料2に沿って説明。)

【藤田会長】

今、説明いただいたことについて、皆さんから質問をいただく。よろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

それでは、代表的なものを説明いただいたが、この資料を読み込んでいただき、委員の責任を果たしていただきたい。

次に「6 協議」に入る。「(1) 浦川原区地域協議会で定める事項」で、「席順」については資料3のとおりで、私と副会長を除く委員の皆さんが五十音順になっている。これについて何かないか。

(会場内から「ありません。」の声)

それでは、この席順で進めていきたい。次に「会議録の確認方法」で、会議録の確認は上越市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則第5条第2項に基づき会議の内容を協議会が指定した者の確認が必要であり、これまで会議の冒頭に会議録の確認者を地域協議会に出席している委員の中から1名選出し、会議終了後、事務局が作成した会議録を地域協議会で選出した委員へ送付し、確認していたが、我々もこの方法で行うこととし、本日の会議録の確認は五十音順で五十嵐委員からお願いしたいと思うが、五十嵐委員よろしいか。

【五十嵐委員】

はい。

【藤田会長】

それでは会議録が送付されるので、確認していただき、事務局へお返しいただくという形になるので、よろしく願います。

【市村委員】

会議録の内容についてだが、ここでお話したこと、例えば私、「市村がこんな内容のことを発言した。」というように出てくると思うが、それは公開されるということか。当然、傍聴席もあるので、そうだと思うのだが。

【藤田会長】

事務局より、説明願う。

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

公開された地域協議会の会議の中で発言された内容は、発言された委員の名前も含めて議事録を作成する。それを市のホームページ等でも公開しており、発言者の氏名、発言の内容はそのまま議事録に載るということで、ご理解いただきたい。

【市村委員】

この後の会議で補助金等の関係が出てくるが、「あの委員が私らの提案にこんな発言をしたのか。」ということが全て出てしまうということを確認したかった。ただ、それによって言いたいことを言えなくなるということも切ないものがあり、そのことを一応確認させてもらいたかった。

【藤田会長】

他にないか。

【杉田委員】

この会議録の確認委員は4年間やるのか。

【藤田会長】

そうだ。

【杉田委員】

毎年交代か。

【藤田会長】

毎回交代である。他にないか。それでは、「地域協議会の運営方針（案）」について総務・地域振興グループ西山グループ長より説明願う。

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

（資料4に沿って説明。）

【藤田会長】

会議の開催要件の一つである「地域協議会が定める数以上の委員から請求があった場合に…」とあり、今までは3名で、3名以上の会議の開催の請求があったら地域協議会を開催するという事になっている。この人数を決めたいと思うが、いかがか。今までどおり3名でよろしいか。

（会場内から「はい。」の声多数）

それでは、3名ということで進めていきたい。次に「(2) 浦川原区地域協議会だよりの発行について」これについて総務・地域振興グループ西山グループ長より説明願う。

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

（資料5に沿って説明。）

【藤田会長】

資料5で4班に分かれていて、7月、10月、1月、3月というようになっており、年4回発行するとなっている。丸印の横の方はまとめ役の班長ということで、願います。これについてご意見をお聞かせいただきたい。

【市村委員】

2点ほど。第1班の予定に入っているが、事務局で日程等、すでに予定があるのであれば聞かせていただきたいということと、内容的には毎回、毎回違う企画をやるというわけにはいかないと思うが、内容的にはある程度シリーズ化というか、定例化しているのか聞きたい。

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

1回目の発行を目標として7月とさせていただいており、例年のパターンだと、6月に行われる地域活動支援事業の提案の採否結果をお知らせさせていただくということが今までのパターンである。ただ、他の案件が出れば他の案件でも良いと思われる。ということで、来月のプレゼン、審査会に取り組んでいただき、その結果を受けての記事になると想定している。

【市村委員】

まだ、はっきりした日程は決められていないということか。

【藤田会長】

これは3人のメンバーがおり、事務局とすり合わせをしていただき、決めていただくという形でお願ひする。

次に「(3) 浦川原区における平成28年度の地域活動支援事業の審査について」、地域協議会の業務には地域活動支援事業の審査があり、今回、新たに委員となった方も多くおられるので、市からの審査依頼と、提案事業の一覧をお配りしているが、審査を進めるにあたって、基本的な進め方について総務・地域振興グループ宮川班長より説明願う。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

(資料6、別紙1、2、3、4、5に沿って説明。)

【藤田会長】

審査にあたっての考え方を主に説明いただいた。公平性を保つために皆さんから一読いただき、6月5日までに再度この資料に基づき確認いただきたい。それでは、皆さんから審査について、質疑をいただく。

【市村委員】

内容に関してはこれから見させていただくが、ざっと見たら、浦川原小学校の後援会と浦川原中学校の同窓会に「わたじん」と「二葉商事」の見積もりが出ていたが、私も大工という商売をしており、どう見てもプラス10円、20円を足した見積りに見える。

内容に関しては熱意を持って皆さんやろうと思っているようだが、私は見積りの内容に違和感がある。

先ほど私が全て公表されるのかと聞いた部分は、このことがあって、感じたことを話したいと思ったので、団体の方で本当にこの見積りで良いのかどうか、当日までに検討してもらった方が良いのではないかと思う。私の勘違いであれば良いが、少し気になったので、発言した。

それともう一つ、浦川原スポーツクラブだが、2つの見積りで合計金額が同じ金額のような気がするが、私の見方が悪いのかどうか教えていただきたい。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

小学校の見積りの件だが、私どもとしては、業者の設定までは指示できない。出てきたもので、高い、低いしか見ていない。その辺はプレゼンテーションの時に提案団体へ確認していただきたい。

それと、スポーツクラブの見積りが同額ということは、私も最初に確認したが、両方から見積りを取ったら、どちらも同じ金額だったということで、特に意味はなく同額だったということだ。

【市村委員】

我々も業界がいろいろあり、本当はあり得ない話だと思うので、各団体へ話をさせていただけたらと思う。

【藤田会長】

事務局も言われたが、この時点で申し上げることはできないので、参考としてお聞きするというようお願いする。他にないか。それでは、考え方について説明いただいたので、資料に基づき6月5日の審査までに皆さんから学習していただきたい。

次に、「7 報告」で「(1) 市からの報告」の「①『霧ヶ岳温泉ゆあみ』について」産業グループ山崎グループ長より説明願う。

【産業グループ山崎グループ長】

(資料7に沿って説明後)市の回答で「民間利用を含めた今後の利活用について検討してまいります。」という部分が抽象的であると委員の皆様から質問があり、他にもゆあみの今後の在り方について検討する予算措置、例えば県外視察や類似施設の視察等の経費を予算計上しているのかといった質問があった。

民間利用を含めた今後の利活用については、具体的には意見書でも譲渡といった意見もいただいております、そういったことを市も視野に入れていくことになるが、限定的、一

方的にとらわれることなく、広く利活用を考えて、その実現性や効果を検証していかなければならないと考えている。

今後の利活用を検討していく中で、地域の皆さんに必要な報告、説明をしながらご意見をお聞きし、広く利活用について考えていくため、このような回答になっているということで、ご理解いただいている。また、類似施設等の視察にかかる予算等は計上していない。今後の検討の中でどうしても必要ということであれば、考えていかなければならないが、自治体同士の中で情報が取れると思うので、そちらの方から進めていきたいと、類似施設があれば、その市と連絡を取る形で進めていきたいと説明させていただいた。

今後、浦川原区の4地区で開催を予定されている地区別懇談会でもこういった説明をさせていただき、ご意見をいただいた中で利活用について検討していきたいと考えている。

【藤田会長】

霧ヶ岳温泉ゆあみについて経過報告をいただいた。方向性は改選前の地域協議会で出ており、皆様方は今後この利活用をどうしていくかということをご検討していただくことになると思う。これについてご意見はないか。よろしいか。

次に「② 浦川原区小学校統合実行委員会について」及び「③ 浦川原小学校後援会設立準備委員会について」教育・文化グループ南雲グループ長より説明願う。

【教育・文化グループ南雲グループ長】

平成29年4月に浦川原区の3小学校が統合して、新しく「浦川原小学校」が開校することになっており、この浦川原小学校の円滑な開校を目指すとともに所要の準備に資するため、浦川原区小学校統合実行委員会を設置していただき、これまで協議をさせていただいている。

総括としての実行委員会のほか、専門部会として「教育課程部会」「通学部会」「PTA部会」を設けており、また、学校備品、教材備品の確認ということで、各学校の事務担当の教職員による協議もしている。

平成27年度については、実行委員会が計8回、教育課程部会が5回、通学部会とPTA部会はそれぞれ3回開催した。平成27年度の協議内容と28年度に取り組む内容については、資料に記載したとおりである。詳細の説明は省略させていただくが、今後も実行委員会の協議内容をお知らせし、必要に応じて地域の皆様にも情報発信していく。予定どおり平成29年度に開校できるように委員の皆様からのご指導願いたい。

次に、浦川原小学校後援会設立準備委員会について報告する。

学校を運営していく上で、どうしても教育予算だけでは充足できないものがあり、そのため市内の各学校では後援会や同窓会等から支援をいただきながら特別活動に関わる備品等を整備している状況である。新しく開校する浦川原区唯一の小学校となる浦川原小学校を浦川原区地域全体で支援していただく組織を設立していただきたいという思いから、これまで、現3小学校の同窓会長をはじめ、役員の皆様からお集まりいただき協議していただいた。浦川原区全体で支援する後援会組織の立上げに向け、円滑な準備を進めるために、このたび浦川原小学校後援会設立準備委員会を設置していただいた。浦川原区全体で支援する組織ということで、全世帯を構成員とする組織を目指している。

準備委員会を構成する委員は資料のとおりである。委員長は現下保倉小学校同窓会長、副委員長は中保倉小学校同窓会長と末広小学校同窓会長、そして月影地区から下保倉小学校同窓会の幹事から、それぞれ就任いただいた。その他の委員の皆様はそれぞれの同窓会の役員の方々と小学校統合実行委員会の会長、副会長から務めていただいている。

今後のスケジュールと協議内容については、後援会組織について、その構成や規約の検討、組織の人選等、後援会の設立に向け準備をしていく。そして、平成28年12月に正式に浦川原小学校後援会を設立し、平成29年4月の開校を祝う会とともに後援会設立を祝う会も合わせて実施したいということで進めていきたい。

これについても委員の皆様からご支援、ご協力をいただきたい。

【藤田会長】

この報告事項の②、③について、合わせて皆様方のご意見をいただく。報告事項ということでよろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

それでは「8 その他」に入る。「(1) 次回の開催日について」、次回の地域協議会は先ほど説明をしていただいたが、地域活動支援事業の提案者から事業の内容の説明を受けることになっている。その後、審査を行う会議となる。提案者で仕事を持っている方もおられると思うが、6月5日の日曜日の午前9時からプレゼンテーションを行いたい。これについて、ご意見はあるか。

午前9時から始めて、今までの経験だと、お昼を用意していただき、午後から審査に入るので、恐らく午後3時か4時くらいに終了するのではと予想される。そのことについては後日、事務方より案内があると思う。開会は午前9時から浦川原地区公民館の3階講堂で開催するので、よろしくお願ひしたい。よろしいか。

(会場以内から「はい。」の声)

それでは、平成28年度第2回浦川原区地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。